

卒業40年 法1Aクラス会

10・12・4 第一食堂 藤だな

遠くは高知の細木さんをはじめ9人の友は再会の懐かしさと思いの語らいで40年の時の隔たりを一瞬に埋めた初めてのクラス会であった。散会后、クリスマスイルミネーションで飾られたヒマラヤ杉に再会を約束して、池袋の街へ



二次会に出かけた。尚、クラス会に先立ち教会に於いて亡くなられた友に祈りを捧げた。(齋藤 義夫 記)

セントポールズ9人会

11・1・19 新橋亭

今年も吉例の新年顔合せ会を新橋の新橋亭で開催しました。久しぶりに渥美君が奥様を連れて出席してくれました。全部で9名です。昔、予科2年の時のキャンプファイヤーで彼が黒い衣装を着てボレロを踊ったことなどが話題に出て、大いに賑わいました。皆、今年で卒寿を迎えたり過ぎたりしていますが、案外元気で又の再会を約束して散会しました。(上妻 記)



努力により49名の級友のうち37名の住所が判明しました。会は、はじめに昨年11月に逝去した広島坂本紀征君を偲んだ後、近況報告、学生時代の思い出を語り合いました。その後、二次会、三次会と時を忘れ、懇親を深めました。(泉博 記)

昭和44年法学部C組クラス会

11・1・28 銀座 和心庭

卒業後42年が過ぎ11名の参加で行いました。佐賀から中村克介君も駆けつけてくれました。幹事の佐々木真美君の

立教工業理科専門学校 工業物理科一期生会

11・3月 新橋ハイアットホテル

震災にあわれた方たちに先ずお見舞い申し上げます。私たちは立教理専(現理学部)を昭和22年(一期生)に卒業して、今年全員85歳になる同期生です。全員が戦時中、学徒動員で中島飛行機製作所や軍需工場に通って毎日空襲の下、戦死を共にした仲間です。それゆえに今でも団結は固く、以来毎年、少なくとも年二回春と秋にホテルなどで会食会を開いて、当時格別のお世話になった佃先生(後に総長就任)はじめ当時の想い出話に花を咲かせています。最近も理学部の教室等を訪問し、その充実ぶりに驚いています。我々はいつまでも立教精神を保ち頑張っていくつもりです。今後母校のますますの発展を期待しております。ご高齢の先輩たちがいることもお忘れなく。(田島 記)

昭和41年卒経学科1組クラス会

11・4・2 セントポールズ会館

昨年4月4日の第一土曜日が定例となり、級友10名と夫人2名で、余震の中で

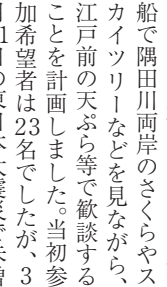


ごちんまりのクラス会。被災者へ黙祷を奉げ開宴。地震時の体験談や近況など語り合う。ホロ酔いで「俺が、お前が」と青春時代に語り合いました。杯も重なる盛況ぶり。今回は参加者倍増を約束して散会。尚、会費の一部を義捐金として日赤へ送った。(谷口 記)

昭和35年卒業社会学部1組クラス会

11・4・12

卒業から50年を機に、当クラス会に出席する常連の人々から、ここまで元気に会に出てこられる健康に感謝して、今後は毎年開催することになりました。趣向をかえて、屋形船で隅田川兩岸のさくらやスカイツリーなどを見ながら、江戸前のお天ぷらなどで歓談することを計画しました。当初参加希望者は23名でしたが、3月11日の東日本大震災で未曾有の被害が出たため世論の自粛ムードもありましたが、逆説的に実行しました。晴天にも、例年より遅い満開の桜にも迎えられ、参加者は皆喜んで解散となりました。来年は静岡で、鈴木、袴田両氏を幹事に開催してもらおうつもりです。奮ってご参加ください。(平田 記)



「出席者」(前列右から) 武者祐二、山口義郎、松本克海、松本夫人、若林夫人、若林延浩、増田征三、後列右から松田安弘、佐々木哲夫、福本雅也、谷口勝年、三村良彦

昭和32年卒「セントシャイン」会

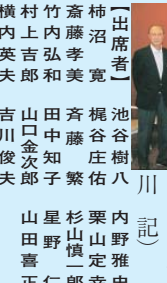
11・4・17 銀座・サンミ高松本店

第16回は、東日本大震災と原発事故から37日後、世の中が自粛ムードのなか、勇氣ある16名が参集。吉川俊夫の進行で冒頭、昨年12月に逝去された長谷川晃一氏と被災地の犠牲者の方々の冥福を祈り、齋藤孝美氏により献杯を捧げました。料理に舌づつみを打ちながら、大震災、原発などの話題に集中。こういう時こそお互いに元氣なパワーを貰い、友情を温め心とむひと時でした。最後に内野雅史氏のリードで校歌を斉唱し、「フレール、フレール」立教」を締め、お互いに前向きに生きることを誓い、次回

立教大学科1・B組クラス会

11・4・30 いらか渋谷店

八十路を越える年齢となり、闘病生活者も増え、亡くなる方もあって、本年、卒業60周年の節目の年に、最後のクラス会を開催して幕を閉じることとなりました。昨年の参加の方のうち、2名が病氣、1名が転倒による受傷で不参加。病をおし、久しぶり



「出席者」池谷樹八、内野雅史、柿沼寛、齊藤庄信、山田定幸、斎藤孝美、田中知子、杉山慎郎、竹内弘和、山口金次郎、星野仁、村上吉郎、山田喜正、横内英夫、吉川俊夫

昭和16年入学予科C組クラス会

11・5・16 17 道後温泉ふなや

新緑が深まり爽やかな五月、東京・川崎・伊東・高山・京都・松山から6名と、同伴の夫人2名が参加し、夏目漱石の「坊っちゃん」で有名な道後温泉にある、校友平成11年卒)経営の老舗ホテルで盛大に開催した。翌日は正岡子規記念館、寺院などを見学した。我々は米寿を迎え、全員、軍隊経験のある老兵であるが、来年も東京で開催し、母校訪問を計画し、意気軒昂である。このクラス会は二十数年前から輪番で毎年開催している。(大岡 記)

昭和33年入学社会学部C組クラス会

11・5・16 17 JFE 軽井沢清風荘

久し振りの一泊クラス会を開催した。15名の参加を得、チャーターバスにて車中から大いに盛り上がり、レイクガーデンや製糸工場見学等盛りだくさん。楽しく帰京しました。(小川 記)



「参加者」(右から) 上西 上西夫人、三浦 大岡、岡田 山田夫人、伊藤

川鍋ゼミナルOB会

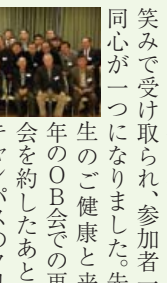
10・12・11 セントポールズ会館

恒例となった経済学部川鍋ゼミナルOB会が開催されました。今年の参加者は、47名です。年の瀬に先生を囲んで集う会としてすっかり定着しています。先生も元氣な顔を見せられました。お子さんとご一緒の参加者も2組あり、家族の集まりのように、とても和やかな温かい雰囲気となりました。先生の今年の講義は「明治維新・戦後の民主主義について」先生の言葉を引き合いに格調の高いものでした。先生は、散歩の後キヤフェで朝食をとり、その後学生生活と判で押したような毎日とか。ライフの達人として、我々はまだまだ学ぶべきことが沢山あるようです。二人のお子さんからの花束贈呈に満面の笑みで受け取られ、参加者一同心が一つになりました。先生のご健康と来年のOB会での再会を約したあと、キャンパスのクリスマスツリーを仰ぎ見て、池袋の街へ繰り出しました。(堀之内 記)

BGA第5支部OB会(45・52卒)

11・2・5 池袋「竹若」

当日はとても寒い日でしたが集まってみると皆昔と変わらず、大手術をしたO君も元氣に出席されてうれしかったです。60才を過ぎるとこういう会も増えてその



「出席者」(前列右から) 阿部カレン、小澤(ホルン)、迫平山(テニス)、佐久間 三浦(自動車)、市井(馬術)、山本(スケート)、斎藤(バレー)、式野球、大谷(水泳)、安藤(バレー)、ボリス、玉塚(レスリング)、横山(ソフトテニス)

クラブ・ゼミ

都度なつかしさと共に発見があり、思い出話に花が咲きました。来年も皆元氣でいられたらと思いつつ。(山倉 記)

威友会小林威雄ゼミB会講演会

11・2・19 居酒屋「てぬぎや大門」

平成22年度第3回講演会を行いました。今回は講師に山岸宜公先生をお迎えして、チェロによる演奏と「イスラエルと音楽」という題でのご講演をお願いしました。先生は東京芸術大学を卒業後、イスラエル公共楽団首席チェロ奏者などを務められました。今回の企画は、山岸先生が小林ゼミの齋藤孝先生(40)と長野の上田高校の同級生だったという縁で実現しました。会場もゼミのOBのご兄弟がやっておられるお店で、土曜日の午後、チェロによるパツハの曲を堪能した後、イスラエルに行かれた経緯や先生のお話をお聞きしながら、美酒に浸るとい

体育会OBクラブS26会

11・5・14 第一食堂 藤だな

昭和26年3月に卒業した体育会各部で活躍したS26会のメンバーも年齢82才を超え、年に一度開催してきた例会の参加者も年々少なくなり、今年5月の出席者は16名と寂しくなりは118名でしたが、時が経ち今は後期高齢者となります。冥福を祈り黙祷を捧げました。本年は卒業60年の節目に当たり、長年続いたS26会は、これからの健康と長寿を祈念して、今回を最後に散すことに致しました。長年有難うございました。(小林 記)



「出席者」(前列右から) 阿部カレン、小澤(ホルン)、迫平山(テニス)、佐久間 三浦(自動車)、市井(馬術)、山本(スケート)、斎藤(バレー)、式野球、大谷(水泳)、安藤(バレー)、ボリス、玉塚(レスリング)、横山(ソフトテニス)

ST. PAUL'S ALUMNI

## 維持会費納入

ご協力お願い申し上げます。

校友会ではこの「セントポール」誌発行をはじめ、様々な校友会の活動をご支援いただくため、維持会費の納入をお願いしております。昨年は約4,550件・約2,000万円のご協力をいただきました。これからの校友会発展のためにもどうぞご支援をよろしくお願い申し上げます。

維持会費は一口3,000円以上で  
会員の皆様には一人一口3,000円以上での納入をお願いしております。

納入方法について  
前回同封の振込用紙にてご入金をお願いいたします。振込用紙を紛失された方は校友会事務局までご連絡ください。

校友の広場

「校友の広場」掲載希望の方は、(1)文字数200文字まで(出席者のお名前を含む)(2)写真1枚(パノラマ不可)を下記まで送付またはメールにて投稿ください。あて先 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1 立教大学校友会 会報担当係「メール」koyu@grp.rikkyo.ne.jp

ST. PAUL'S ALUMNI